

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

足立区立舎人小学校(東京都)【協力校】

【取組内容】①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したポートフォリオの活用

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、デジタルポートフォリオを活用しました。2年生では自分のおもちゃをパワーアップしていく様子を写真や動画の記録としてポートフォリオにし、振り返ることができるようにしました。自分のおもちゃがどのような経過で改善されてきたのかを振り返るよいツールとなりました。また、教師も指導・支援しやすくなりました。

他の学年でも、理科の実験などの準備に時間がかかることを動画の記録として残し、いつでも振り返ることのできるポートフォリオとして蓄積することに取り組んでいます。

かんせいしたおもちゃ



うごきのようす



パワーアップしたおもちゃ



うごきのようす



リーディング DXスクール事業 【実践事例】

足立区立舎人小学校(東京都)【協力校】

【取組内容】①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したポートフォリオの活用

回数	日時	授業のめあて	①授業で学んだこと ②授業の感想や疑問 (友達や先生の回答を記録する場合は、青色で書こう。)	その他 ポートフォリオや資料のリンクをはる。プリントや黒板などを写真で撮り、リンクを貼っておくのもよい。
1	？月？？日	め「大昔の人の生活を想像しながら、想像図を読み取ろう。」	大昔の人は今とはぜんぜん違う暮らしをしていた。食べ物などは自分でとってきて、髪型も、みんなお団子やひょつ結びをしていた。家も藁などで、できていた。次はもっと今と違うところについて調べてみたいと思った。	ペアで編集したスライドのリンクを貼っておくこと。
2	5月30日	め「読み取ったことをペアに伝え、変化に注目してまとめよう。」 課題やめあてを考える中で、どんなことに興味や疑問をもったかを書きましょう。	一枚目の資料も二枚目の資料も裸足で行動していたのでなぜ裸足で行動しているのか気になった。一枚目の資料を二枚目の資料では食べ物も全然違ってどのように変わっていったのか気になった。	https://docs.google.com/presentation/d/12v0zIR4-31ytdv1118PKyzievXH11yGJ2dobx3DlcUJ/edit#slide=id.g2dad37
3		学習問題 「どのように変化していったのか詳しく資料を読み取ろう。」		
6		め「縄文時代ではどのような生活をしていたのかを調べよう。」	縄文時代では狩り中心の生活をしていて、高床倉庫で米なども管理していた。	

高学年ではポートフォリオの形式を上図のようすることで、児童の考えが友達同士で共有しやすくなり、協働的な学びがうまれるようになりました。また、振り返りに資料をリンクで貼り付けられるような工夫をしました。写真や動画の記録、インターネット上のページや各アプリケーションのリンクも貼ることができるので、振り返りに全てが集約されます。煩雑になりがちなデータをまとめることができるようになるだけでなく、教師も学級の児童の考えが把握しやすくなりました。

リーディング DXスクール事業【実践事例】

足立区立舎人小学校(東京都)【協力校】

【取組内容】②情報活用能力の育成に向けた系統性の共有

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
デジタルポートフォリオで学習を進めていくための基盤となる力 ↓ 情報活用能力の育成につながる	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末の起動・終了の仕方を理解する。 ○手書き(ペン)での入力や写真の撮影・挿入ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーボードや手書きを入力での文字入力ができる。 ○ジャムボードが活用できる。 ○写真の撮影・挿入ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーボードでの文字入力ができる。 ○スライドの活用ができる。 ○写真の撮影・挿入ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○レイアウトを工夫してスライドの活用ができる。 ○スプレッドシートの活用ができる。 ○インターネットを活用した情報収集ができる。 ○動画の撮影・挿入ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料のリンクを貼ることができる。 ○フォルダの整理ができる。 ○フォームでアンケートをつくらることができる。 ○音声の入力をするることができる。 ○自分で作ったスライドなどをほかの人に共有することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料のリンクを貼ることができる。 ○フォルダの整理ができる。 ○フォームでアンケートをつくらることができる。 ○音声の入力をするることができる。 ○自分で作ったスライドなどをほかの人に共有することができる。
	思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や写真を用いて自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や写真を用いて自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを伝えるために、絵や写真、文字などの提示資料を作成し、表現する。 ○情報を収集できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のために、情報を適切に収集・整理して判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収集した情報を自分に落とし込むことができる。 ○複数の情報から必要な情報を適切に選択し、自分の言葉や写真などを用いて表現する。 ○目的に応じてGoogleのアプリを選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収集した情報を自分に落とし込むことができる。 ○複数の情報から必要な情報を適切に選択し、自分の言葉や写真などを用いて表現する。 ○目的に応じてGoogleのアプリを選択する。
	学びに向かう人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を見付け、記録しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を見付け、記録しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報や情報技術を学習や生活に生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報や情報技術を学習や生活に生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報に関する自他の権利を尊重するとともに、インターネットを正しく活用して学習や生活をよりよいものにしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報に関する自他の権利を尊重するとともに、インターネットを正しく活用して学習や生活をよりよいものにしようとする。
今年度特に検討したい部分	デジタルポートフォリオの段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムボードで学習に使う写真などをためていく、手書きを入力でメモをする。 ○「背景」の機能を使って、教師がある程度の型を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムボードで学習に使う写真などをためていく、手書きを入力でメモをする。 ○「背景」の機能を使って、教師がある程度の型を示す。 ○提示したポートフォリオに写真を載せたり文字を打ち込んだりして、内容を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムボードやスライドに学習の記録を残す。 ○教師の示した型をもとに、学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムボードやスライドに学習の記録を残し、スプレッドシートにリンクさせる。 ○スライドで記録を残すとともに、学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドで学習の記録を残すとともに、使った資料などのリンクをスプレッドシートに記録しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドで学習の記録を残すとともに、使った資料などのリンクをスプレッドシートに記録しておく。 ○スライドをノートのように使って、自分で学習内容をまとめる。
	ノートとのすみ分け	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを中心とした学習。ポートフォリオは写真記録の保存に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的にはノートを中心とした学習。振り返りや成果を全体で共有する際は、ポートフォリオやスプレッドシートを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを中心とした学習。写真記録だけでなく、問題や発問などに対する意見を全体で共有したいときなどにも活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを中心とした学習。写真記録だけでなく、問題や発問などに対する意見を全体で共有したいときなどにも活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○單元によって、ノートとデジタルポートフォリオを併用していく。協働で学習を進める場面でも活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○單元によって、ノートとデジタルポートフォリオを併用していく。協働で学習を進める場面でも活用する。
デジタルポートフォリオを有効に使える場面	4教科と單元	<ul style="list-style-type: none"> ○生活「作って ためて」 ○体育「マッド運動」 ○国語「かさこしぞう」音読発表 余振りシート 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活「くらしのうつりかわり」 ○算数「表と棒グラフ」 ○理科「ゴムのはたらき」 ○工芸の作品を写真に撮る。 ○国語「町の行事を紹介しよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数「長さ、まわりと四角形」「面積」「折れ線グラフ」 ○理科「自然の中の水」「水の3つのすがた」 ○国語「調べてわかったことを発表しよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○算「円と正多角形」 ○理科全般(実験記録など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○理科全般(実験記録など) ○算「円と正多角形」 ○算「新幹線図形」「植木図と輪図」「円の面積」「比例と反比例」 	
						○振り返り	○検査「100周年関係」(米、野)

各学年で情報活用能力の様々な領域をどの程度育成すればよいのか、そのためにどのアプリケーションを使うのが望ましいのかなどをまとめたことで、各学年で取り組む内容が明確になりました。若手の先生や異動してきたばかりの先生にとっても、児童の力をどこまで高める必要があるのかが明確になりました。

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

足立区立舎人小学校(東京都)【協力校】

【取組内容】④校内研究における校務 DX

校内研 協議会: (中学年)

個別でも協働でもある場合は両方にかかると貼れるよう、デザインを調整しました。

付箋の色と視点の書き方

個別が協働

成果は青色

個別が協働

課題は赤
改善案も入れられるよ

個別が協働

質問は黄色

授業観察の視点

【個別最適な学び】

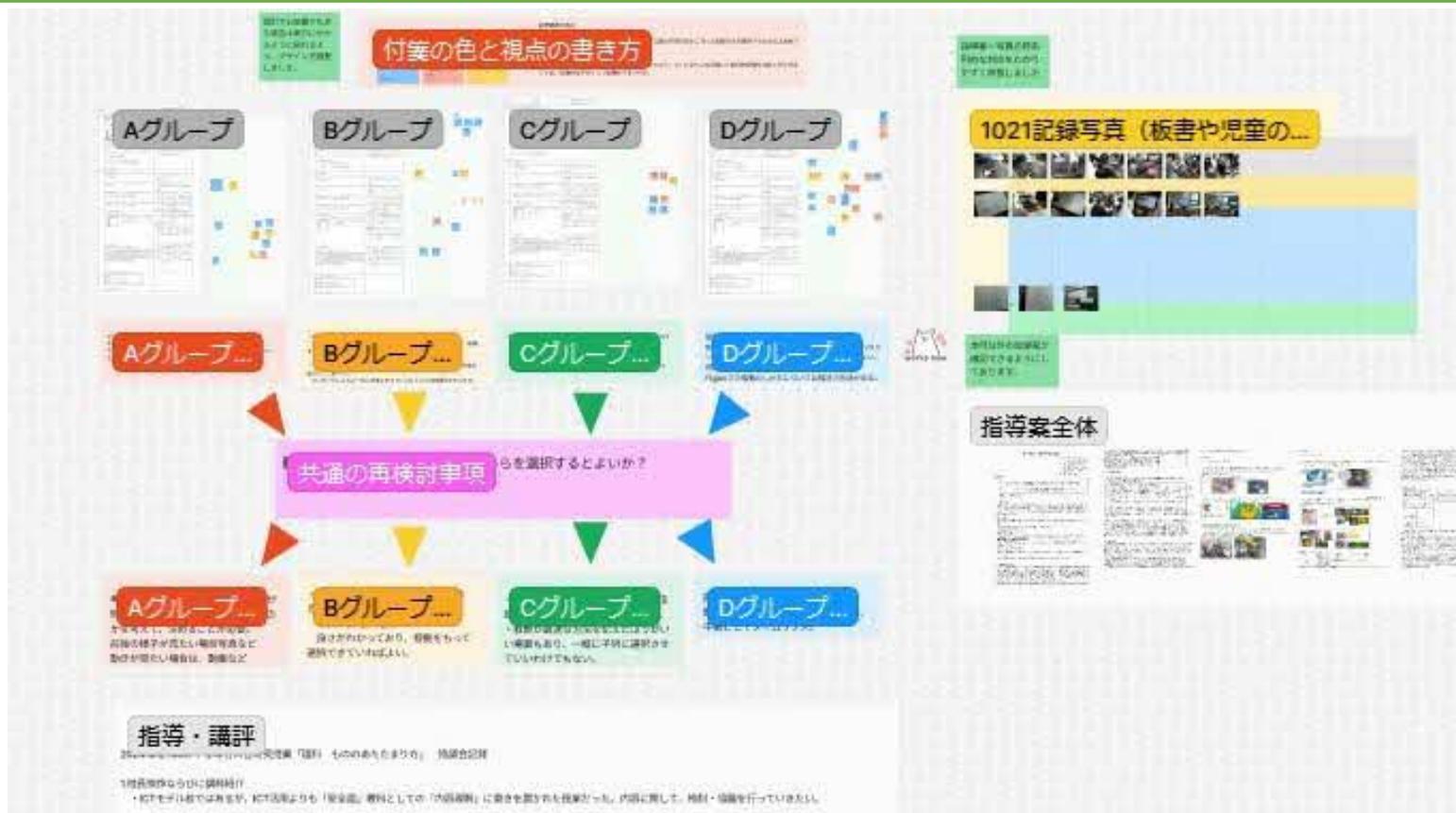
- ・実験の記録の仕方を選択させたことは、来年度以降の学習で自分に合った記録方法を選択するための土台作りとして効果的であったか。

【協働的な学び】

- ・班の中で変化が捉えやすい撮影の仕方を話し合ったり、フィグジャムを活用して各班の記録を共有したりすることは、協働的な学びとして効果的であったか。

校内研究ではオンラインホワイトボードを活用しました。授業を観ながら成果や課題などを付箋にして貼り付けておくことで、協議会の時間を長く確保することができ、より内容の濃い話し合いができるようになりました。また、協議会の流れや授業を観る視点もオンラインホワイトボードに示し、紙の指導案を使わなくても済むようにしました。

【取組内容】④校内研究における校務 DX



オンラインホワイトボードは編集できる部分が広く、拡大・縮小も容易であるという特徴を活かし、指導案の全体や記録写真、指導・講評も1つのシートにまとめるようにしました。校務の削減だけでなく、散らばったデータを探す時間の短縮や協議会終了後に行う校務削減にもつながり、校務のDX化を図ることができました。